北海商科大学　講義概要（シラバス）

2020年度

科目名	社会調査方法論A	科目コード	1524	単位数	2
担当者名	玉井　航太	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

授業のねらい

現代社会において，社会調査は人々の態度や実態を検討する上で重要なツールの一つである。本講義では，社会調査と現代社会のつながりやその歴史と用途，社会調査の種類といった大枠での社会調査の位置付けと共に，社会調査において出てくる数値の意味を理解してもらい，修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を養ってもらう。

到達目標

本講義では，様々な分野で用いられている社会調査の概要を学び，この授業だけではなく，他の授業においも示されることのある調査結果資料などを理解する力を身に着けることを目指し，その中で論理性と客観性，そして数量的視点の獲得を目指す。

授業内容

1週目 オリエンテーション・現代社会における社会調査
2週目 社会調査の歴史と用途（１）（社会調査の歴史）
3週目 社会調査の類型概論
4週目 社会調査の歴史と用途（２）（コント実証主義哲学）
5週目 社会調査における理論的基盤
6週目 社会調査におけるサンプリング
7週目 中間試験とこれまでのまとめ
8週目 量的調査概論
9週目 社会調査における調査デザインと中間試験のフィードバック
10週目 社会調査における分析手法（１）（用語と基本的考え方）
11週目 社会調査における分析手法（２）（質的変数とまとめ方）
12週目 社会調査における分析手法（３）（量的変数とまとめ方）
13週目 社会調査における分析手法（４）（相関係数）
14週目 これまでの復習
15週目 期末試験と前期のまとめ
16週目 期末試験のフィードバックと社会調査方法論Bへの招待
但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

準備学習(予習・復習)等の内容

覚えることや理解することが多いので，週３時間の予習・復習をすること。授業で使う資料などを事前にCourse Power上に公開するので，毎回予習として資料を一読し不明瞭な点を抽出しておくこと。また，授業開始時に小テストとして選択式のクイズを出すので，前の授業での内容を復習しておくこと。授業で行う小テストとしてのクイズもCourse Power上に公開するので，中間・期末試験に向けての学習に活用すること。
期末試験では自身の手書きによるMy notebookの持ち込みのみ認める。そのために，試験に向けて，授業後に復習を兼ねてノート作りを行い，授業内容の理解を深めること。

成績評価の方法・基準

中間試験（40%）・期末試験（60%）を得点化し，基礎成績点とする。そして，授業内での小テストを10%分の成績得点として加算して評価をする。授業時での態度や議論への取り組みも判断材料に含める。成績の評価は，授業週である16週のうち，11週以上授業に出席した学生を対象とする。また，試験を受けなかった者は評価の対象とならない。

履修上の留意点

本講義では，授業週である16週の内11週以上授業に出席した学生を評価対象とする。また，2回の遅刻で1回分の欠席とするので注意されたい。
出席管理はコメントシートによっておこなうものである。
授業に関するお知らせなどはCourse Powerから行うので常に確認すること。

課題に対するフィードバックの方法

小テストについては実施した後に，各問題について解説していく。中間・期末試験はフィードバックし，問題の解説をおこなう。

テキスト

特になし。

参考書

谷岡一郎(著) 「社会調査」のウソ―リサーチ・リテラシーのすすめ (文春新書)文藝春秋

更新日付

2020/02/04 02:25